

第 114 回

火山噴火予知連絡会資料

2009年10月5日

東北大学大学院理学研究科

2001年ころから継続している傾斜・
歪変動傾向が、今期も続いている。

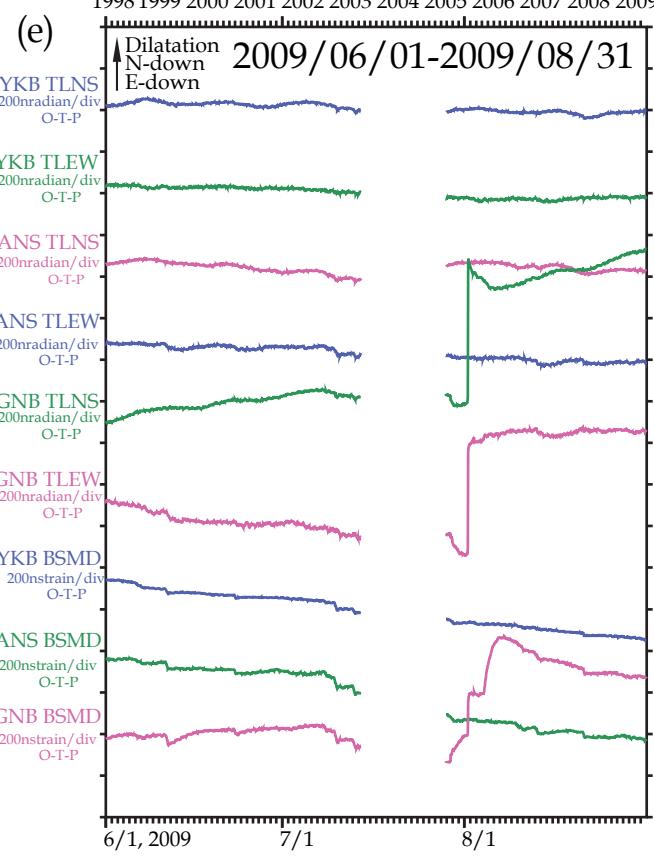
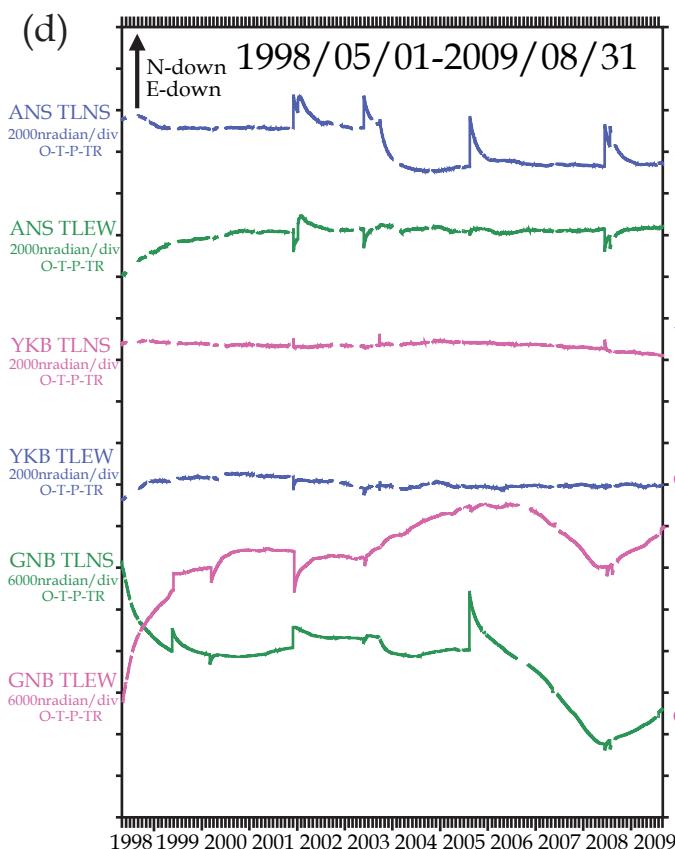
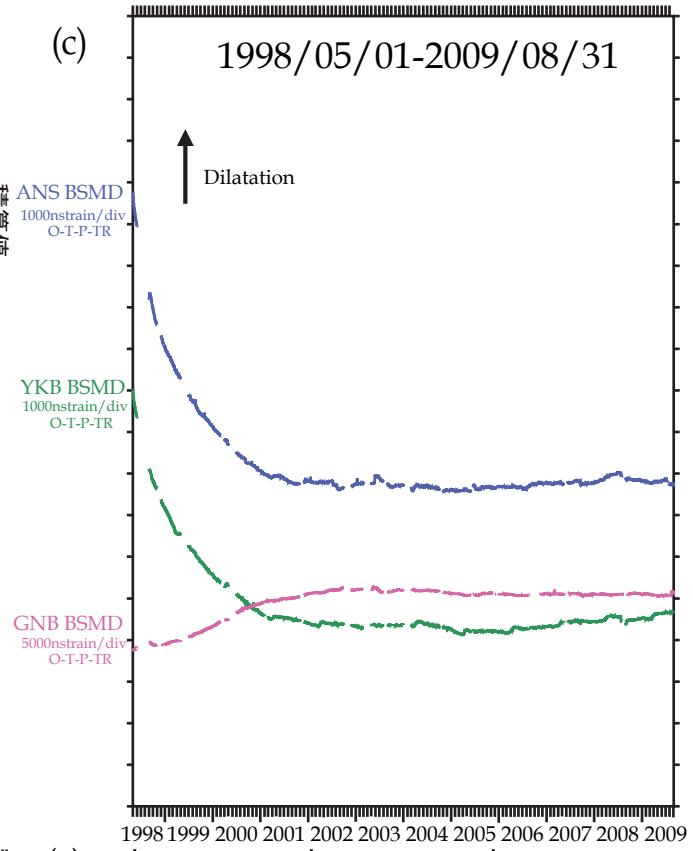
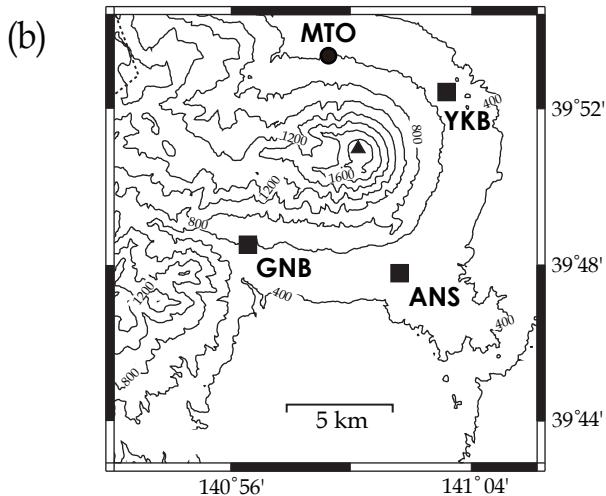
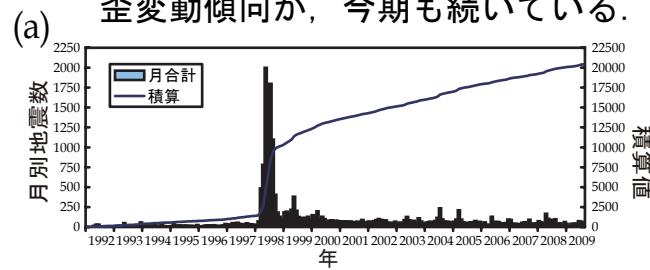


図1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動連続記録。(a)月別地震数の変化(1992年4月～2009年8月),(b)観測点配置,(c)1998年5月1日～2009年8月31日における歪変動,(d)傾斜変動,(e)2009年6月1日～2009年8月31日の歪・傾斜変動. BSMD:体積歪, TLNS:傾斜南北成分, TLEW:傾斜東西成分. (c), (d)は潮汐・気圧・トレンド補正済. (e)は潮汐・気圧のみ補正済. トビをともなう変動は有感地震の影響あるいは降雨の影響. ただし, 2009年8月はじめのGNBにおける変動は原因不明. 2001年頃より後, 火山活動に関連すると考えられる変動は認められない. 地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した.

岩手山

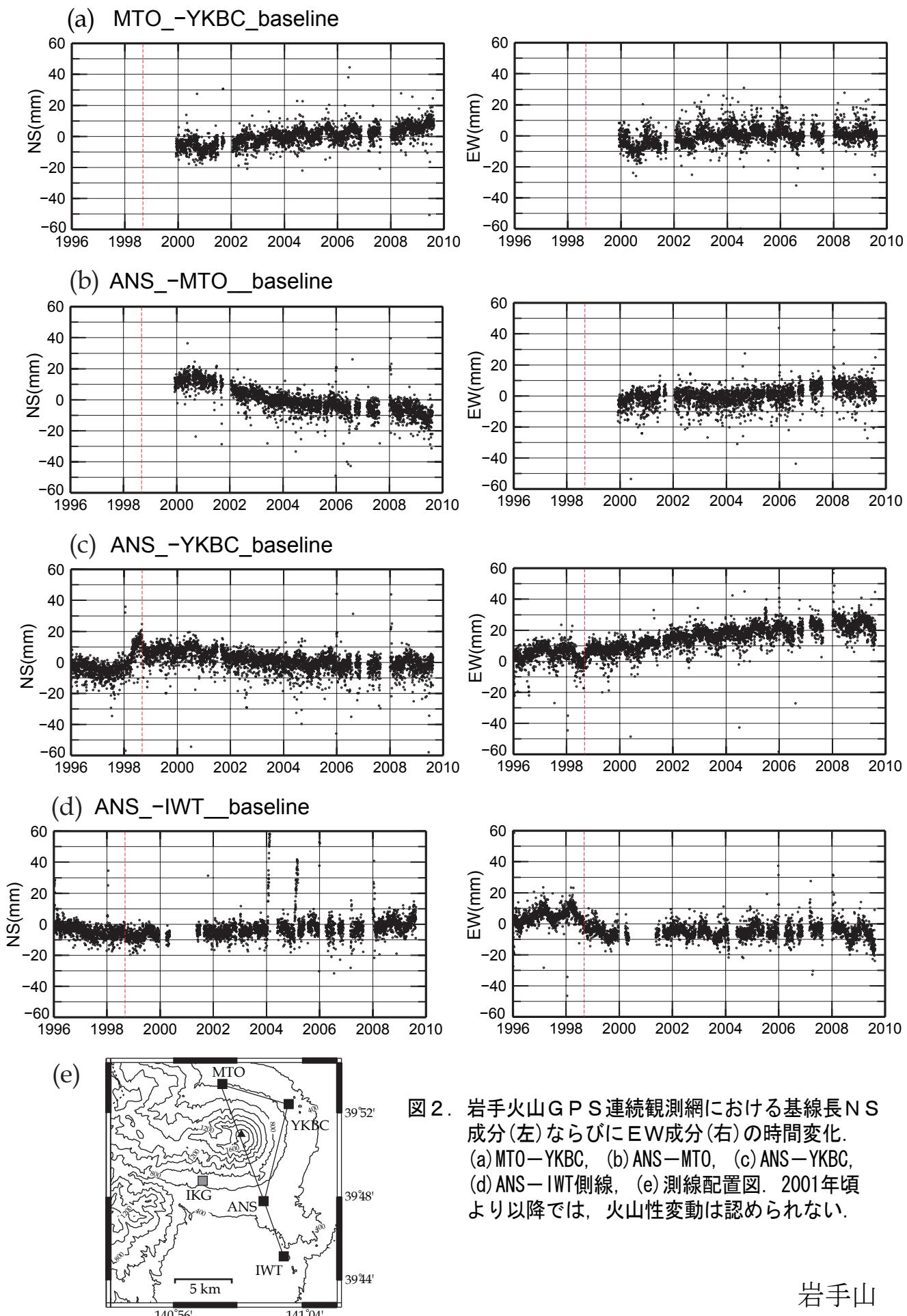


図2. 岩手火山GPS連続観測網における基線長NS成分(左)ならびにEW成分(右)の時間変化。
(a) MTO-YKBC, (b) ANS-MTO, (c) ANS-YKBC,
(d) ANS-IWT側線, (e) 測線配置図。2001年頃より以降では、火山性変動は認められない。

岩手山